生誕１１０年に向けて
矢島が生んだ日本の喜劇映画の神様

『幼少の斎藤寅次郎 映画監督を語る』

『矢島の歴史とまちなみの魅力を語る』

2014.2/16(日)
13：30～16:30

矢島町旧新館 市民ホール
参加費：無料

斎藤寅次郎の経歴

明治36年 1月3日矢島町荒町に斎藤幸一郎の長男として生まれる

大正 8年 矢島小学校高等科卒業後上京 早稲田高等学院に入学

大正11年 同校を中退 映画研究所へ入所する

大正14年 監督になる（活動第一回作品「珍小島に電話」をはじめとして時代劇を中心に作品多数

昭和 3年 長男誠也（俳優）誕生

昭和10年 「この子捨てざれば」キネマ旬報ベストテン 受賞

昭和12年 トーキー時代を迎えて「エノケンの青春」を撮る

昭和22年 戦後作品「東京五人男」ヒット

昭和24年 美空ひばりの映画初出演作品「のど自慢狂時代」手がける

昭和29年 新東宝最初の色彩映画「ニッポンのおじさん」（ニッポン珍道中）監督

昭和32年 「下町の太陽」撮影中に脳卒中で倒れ、翌33年に永眠

開　場（13：00～）

第１部（13：30～）

映画で笑いの爆発!!

『幼少の斎藤寅次郎映画監督を語る』

講師：福田 善朗氏（甲）（矢島時計店、寅次郎監督の親戚）

第２部（15：10～）

パネルディスカッション

『矢島の歴史とまちなみの魅力を語る』

コーディネーター：澤田　幸代（矢島歴史まちなみを守る会）

パネリスト上：三浦　敏男氏（矢島町郷土史研究会長）

：春田　春男氏（由利高等統合特別支援学校校長）

：富岡 伊恵子氏（秋田県立大学講師、地域活力創造研究所）

：佐藤　久美（矢島歴史まちなみを守る会）

※由利本荘市地域づくり推進事業

【主催・お問い合わせ先】
矢島歴史まちなみをまもる会 ☎0184-56-2023(佐藤)

【後　援】
矢島芸術文化協会